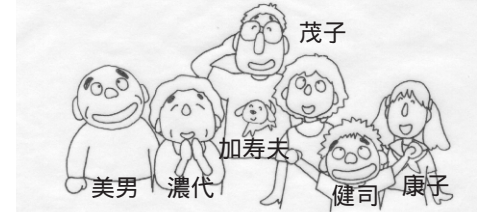


美濃加茂健康ファミリー



第四十一話

加寿夫の血液クイズ!

加寿夫「えっへん。それでは血液に関係する問題を出さぞ。第1問、床屋の赤と青のらせん状のシンボルは動脈と静脈を表している。さーて、か×か？」

健 司「かな? だけど、なんで床屋が血液を表すのかな?」

康 子「健ちゃん、なら、私は×にしよう」と。

加寿夫「答えは、でーす。なぜなら、中世ヨーロッパの床屋は外科医を兼ねていたことから、赤は動脈、青は静脈、白は包帯を表しているんだよ。」

「それでは第2問、ピンチになると顔が青くなるのは、筋肉に多くの血液が回るか

らである。さーて ×どつち?」

健 司「僕はあがり性だから経験あるけど...んー、にする。」

康 子「私はあまりピンチにならないけど...かかな?」

加寿夫「答えは、これも動脈だよ。人間はもとも動物だよ。動物は敵に会ったときすぐに動きがとれるように、自分の筋肉に多くの血液を回すことが必要となるんだ。そのため顔の表面の血液が少なくなり、顔が青くなるという訳なんだよ。」

献血はなぜ必要なの? 血液は科学が進歩した現在でも、人工的につくることができないばかりか、生きた細胞であるため、長期間の保存もできません。一方、事故などで大量に出血したときや、先天的な病気で生まれつき血液成分が足りない人などには、人から得た血液が必要不可欠となります。

つまり、常に十分な血液を確保しておかなければならないため、献血が必要となるのです。

市役所でも10月31日(水)午後2時から4時まで献血を行います。みなさんの協力をお願いします。

だん

生きる力を育む場「家庭」

先日、親友がガンで亡くなった。三人の子を残し、四十半ばで。彼女は私に言った。「仕事に逃げないで、家族を大切にしたい?」「私、夜不安で眠れないの。でもね、子どもが手を握って寝てくれる。家事もみんなで行くとやるの、心配なんだね」「家族が一番、ね」と。

仕事上、たくさんの若いお母さん、お父さんにお会いします。初めての子育てに迷う人、父親が分かってくれないと嘆く人、仕事と子育ての両立ができないと悩む人。

また、社会が変化し、いろいろな家族に出会います。共働き、実家通い、一人親家庭など。子育ても、未満児・学童保育といろいろな人の力を借りてする家庭が増えました。家庭も子育てもこれが正しいというものはないように思います。でも、子育てをする家庭には、包み込む・慈しむ家族の力がほしい...。しかし、その力は、家族が心穏やかな状態で生まれるようです。

例えば、母親が「女だから、一人で子育て。家事がすべてできて当たり前」という家族の思いの中で孤立しているとしたら、父親が一人で仕事と家事に疲れていたなら、子どもを慈しむことができるでしょうか。

社会でも、家庭でも、男だ女だと言う前に、人間として誰もが大切にされる場であってほしい。子どもであって、大人であってほしい。

人はどんな時も生かされる場所が必ずあります。不要な人は、いないのです。家庭の中でも、男だから力仕事、女だから子育て、子どもだから勉強ではなく、力を出せるところで出し合い、補いあう、交代も可能であってほしいのです。

子どもたちは家族の中で大人を見ています。けんかをしては仲直りする夫婦から、人の心を受け入れ、包み込む姿。いたわりながら家事に力を出し合う姿、そんな自然な人間関係を子どもたちはしっかりと心に刻み込んでいます。

子どもたちは、毎日の暮らしの中で確かめたがっています。自分もわが家に生まれた大切な人間の一人なんだと。

母親による虐待や少年非行。「家族っていいなあ...」こんな心が止めてくれるような気がします。

ひんじやん 言わせん

公園を利用する際のマナーについて
前平公園内に車を乗り入れ、そのまま駐車している人たちが、園内でパーベキューをしてゴミを持ち帰らない人たちにひとこと言わせてください。

私は毎朝、前平公園を散歩している者です。前平公園は、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉と季節を感じさせるばかりか、鳥たちの出迎えがあり、散歩していてもすがすがしい気持ちになります。

しかし、休み明けの園内は、ペットボトルや空き缶、花火の燃えかす、市のゴミ袋いっぱい詰められたゴミなどが目につきます。なんとマナーの悪いことか...

自分たちで出したゴミは、自分たちで持ち帰りましょう。持ち帰りたくないのなら、ゴミを持ち込まないでください。それから、駐車場の空きがあるのに、公園内に車を乗り入れ、駐車している人たちが、公園内は

いろいろな人が散歩しています。事故になる危険もありますので、車は決まった駐車場に駐車してください。

前平公園を毎日、気持ちよく市民のみなさんに利用してもらいたい、そう思っています。

(前平町 Sさん)

犬のフンの後始末について
相変わらず、犬のフンの後始末がされていないようです。看板を立てたり、チョークで大きく注意書きをしている人たちがいるのに... (犯人は分かっているけど、言えないから自分で気付けてよ) フンをされたご近所は迷惑するし、犬を飼っている人が、すべて同じ目で見られるのは大変迷惑ですよ。

(太田町 Tさん)

化石林公園について
化石林公園オーブンの見出しを見て行って来ました。自然がそのまま生かされた公園でいいなーと思う反面、もう少し公園としての設備(ベンチや屋根のある休憩場など)があるとありがたいな...と感じました。

(下米田町 Tさん)

*化石林公園は開園後、多くの

市民のみなさんに来ていただいております。大変ありがたいです。

ご質問にある設備については、化石林公園は河川敷地内にあり、施設を設ける基準は河川法で厳しく定められております。そのため、屋根の付いた大きな施設は化石林公園に設けることは規制されていますので、ご理解願います。

(維持管理課)



化石林公園(御門町)

リサイクルステーションについて
先日、リサイクルステーションを利用させていただきました。実は、今まで利用したことがなかったので、日曜日の朝早く

から、これだけ多くの人たちが私たちが市民のために作業しているとは思いませんでした。本当にお疲れさまです。

ところで、分別作業をいただいているのは、どのような人たちなのでしょうが。

(山之上町 Yさん)

*リサイクルステーションでの作業は、市生活学校の人たちを中心にしています。(環境課)

あなたの身近な話題やうれしかったこと、腹がたったこと、「広報みのかも」を読んだ感想や、特集として取り上げてほしい内容など、気軽に電話やはがき、ファックスまたは電子メールでお寄せください。(広報紙上は匿名で掲載しますが、住所・氏名・電話番号は必ず、お知らせください)あなたの声をお待ちしています。

〒505-8606 美濃加茂市企画部総合政策課広報係
でんわ 0574-25-2111(内線239・241)
F A X 0574-28-1290
電子メール kouhou@city.minokamo.gifu.jp